



# 浜家連ニュース

第164号

平成26年(2014)年4月1日発行

○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階  
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

## 巻頭言 「あなたはつながっていますか？」 理事長 米倉 令二

3・11 東日本大震災から3年たちました。メディアは一斉に特番を作りましたが、今は潮が引いたように、テレビ画面はほかの話題でにぎわっています。

この1月、福島県南相馬市で障害者支援を長年している方の話を聞く機会がありました。

\* 以下は、原発から一番近い、人が住める町からの報告の概要です。

被災死亡者は人口の1%、犠牲者の2/3が高齢者・障害者。障害者の死亡率は2倍だった。

福祉サービスや各団体につながっている障害者は30%。70%の障害者は安否確認すらされていなかった。

- ・ 親から置き去りにされた障害者
- ・ 避難所で24時間2週間車いすの女性
- ・ 避難指示後5日間取り残された全盲の女性
- ・ パニックがひどいため高温の納屋に隔離された精神障害者
- ・ 情報が入らず避難できない視覚・聴覚・知的・精神障害者等

要援護者リストは機能しなかった! ではどうすればいいか!!

- ① 災害前から、情報共有をもとに、平時から要援護者の把握を地域で行う。
- ② 緊急時の個人情報開示の法制化。地域での共助がかなめ。
- ③ 被ばくは心を壊す。
- ④ 現地では原発災害の話はタブー
- ⑤ 避難先で出身地を明かさない
- ⑥ 避難している人と残っている人の心の隔たり。

「ふくしまの復興はまだ始まっていない」。私の胸は今も痛んでいる。

以上の報告を聞き最後のひとことに大きなショックを受けました。胸に手を当て、心からの叫びでした。

翻って、私たちの町では、災害時の対策、特に障害者への援助はどうなのでしょう。机上での計画だけでは、ことは進まないでしょう。日常からの訓練あるのみではないでしょうか。

\* 瀬谷区障害者自立支援協議会<まんまるねっと>主催市民フォーラム「あなたはつながっていますか？」

～東日本大震災と障害者～ 講演：NPO法人さぼーとセンターぴあ代表理事青田由幸氏

\* 2014年1月19日(日)瀬谷公会堂にて



### 浜家連の動き

#### \* ①県知事、県会議長あて、署名提出について

浜家連で集めた署名数 黒岩知事あて 1220筆 古沢議長あて 1257筆 合計2477筆(目標2000筆比 123.9%)でした。浜家連の家族力(組織力)の強さを思います。今後もよろしくお願いします。

#### \* ②不服審査申し出について、全国では124,187筆、神奈川県10,908筆集まりました。

その後の動きですが、請求を出した人には、厚生労働省から「却下されました」というお知らせが届きますので、ご了承ください。

## I みんなねっとフォーラム2013 (work with families)

## —英国メリデン版訪問家族技術支援研修会—の感想

横須賀つばさの会 下江秀雄

26年3月7日(金)に、みんなねっとの主催、津田ホールで開催され会場は、ほぼ満員で参加者の半数は、専門職の方で盛況でした。

講演は、佐藤 純氏(京都ノートルダム女子大)が「英国の精神保健福祉分野における介護者(ケアラー支援)の概要」の講演に始まり「英国バーミンガムのファミリーワークについて」英国の支援チーム(11人)の所長から、次に「ファミリーワークの技術トレーニング」について看護師の副所長からお話がありました。また「わたしの家族がどのように助けられたか」について、職員である家族から実例報告がされました。



ファミリーワークの体験内容は、夫婦から始め、当事者の息子も参加しました。家庭内のコミュニケーションの助けになり家族情報の分かち合い、精神疾患の理解、薬物療法、再発の対処法、悪化の早期警告サインの教育と問題解決のモデルの練習、更に家族会議では将来の計画や準備など含まれる。家族は、ケアの役割が自信とリカバリー回復に貢献出来る。一番身近な家族と当事者が、訪問支援の助けを得て、息子の適切なケアが出来ることは、何も対応が出来ないでいる多くの家族には心強いと思いました。なお「みんなねっと」の4月号にイギリスの家族支援視察の特集記事が載るようです。

この訪問家族支援を日本へ導入のため、「みんなねっと」は、精神保健医療福祉スタッフを公募し、英国で研修をして日本でワークショップを普及する。導入して広く運動として働きかけて、家族と専門職とが手をつないであきら

## II “平成25年度こころといのちを守る訪問支援(アウトリーチ)事業報告会”

3月15日(土)マホロバマイズ三浦にて福井記念病院チームブルーの報告会があり福井記念病院副院長の日比野浩之氏の講演とシンポジウムがありました。国の補助を受けて約2年間、アウトリーチ推進事業をやって、大変だがやりがいがあり楽しかった。アウトリーチとは①自ら求める事が出来ない ②求めようとしない ③既存のシステムからこぼれる人、の所へこちらから出かけて行く。保健福祉医療のどこへもつながっていない支援の空白をうめ、リカバリー(回復)につなげ、疾患があっても社会の中でその人

めずに一歩ずつ進むと佐藤先生から説明された。今後、日本の総合支援法に英国のように訪問家族支援が含まれる事を期待したい。

英国はサッチャー政権下の改革、ブレア政権の精神医療施策で、医療費は無料、地域医療体制の仕組み、また、諸活動では、例えば、自殺者の削減の成果を出し、日本の1/10にしています。家族だけに押し付けず、国が役割を担っているのが羨ましい限りです。

質疑にありましたが、英国も昔は日本と同じであったが、地道な実績の積み上げで今日に至っているようです。地道な活動以外に思うことは、精神障害関係の動きが、他の障害者団体に比べ弱い様に感じます。まとまりに弱く、未だ、重度医療や交通費問題など国レベルでは進みません。全国の声を政府機関や国会議員などへの働きかけの力が不足しているのが、今後の課題と思います。

## (事務局追記)

- \* 普及プロジェクトの冊子を取り寄せました。事務局へお申し出ください。
- \* 下江さんは、じんかれんの理事をされていて、浜家連賛助会員さんです。

あけぼの会 岡林 郁子

らしい生活を送れることを目指す。自宅訪問はとても有意義。④診察室では本当の姿が見えない。⑤本人の生活環境、様子を体験できる。官民協力、警察、民生委員、商店、近隣の住民、家族等の協力が大切。多機関で係わって支援の空白を無くしたい。アウトリーチ事業に係わった方が、皆さん生き生きと語る姿が印象的でした。国の事業は終了して県に移行するので、アウトリーチは継続するか分からないそうです。家族としては是非続けて欲しいと思いました。



大雪の2月から、吹く風にぬくもりの感ぜられる3月までに行われた家族学習会に担当者として参加しました。

今回は家族の中で息子、娘の回復に果たす役割がとても大きいとされる「お父さん」を対象（参加者）とした家族学習会で、全国でも初めての試みではないかと思えます。

- 実施：3家族会（みなと会・みなみ会・もみじ会合同）
- 日時：平成26年1月～3月の間に5回（隔週日曜日の13：30～16：30）
- 場所：中区・不老町ケアプラザ
- 参加者：9名（南区4名、中区2名、旭区2名、青葉区1名の50～70才台の父親）
- 担当者：5名（父親3名 母親2名 いずれもコンボのアドバイザー資格をもつ家族）



家族学習会では、テキストに沿った話し合いに入る前に毎回最初に軽い話題でおしゃべりの練習をしますが「海外・国内でいってみたいところ」「好きな女優さん」などの話題で心をほぐした後に語り合うひとり一人のお父さんの体験、悩み、想いには、息子、娘の状況はそれぞれ異なるけれど、父親の子を思う心情が表れていて、いつもぐいぐいと引き込まれました。

「お父さんのための家族学習会」を終えて、担当者の一人として感じることは3つあります。

1. お父さんが家族学習会へよく参加してくれたこと、そしてありのままに体験を話していただいたことに感謝します。
  2. お父さんが悩みや苦しみの中で、その人なりに困難に対して、対処、対応が出来ていることに感動しました。
  3. 「父親が変わる」ことが何よりも大切。「子どもを一人前の人間に自立させるのが父親の役目」という意識・価値観が息子・娘のリカバリーを難しくしていることを今更ながら痛感しています。
- 長く寒かった冬から、桜の蕾もふくらみはじめました。もうすぐ桜満開の春になります。

## ∞ ∞ ∞ ∞ 家族会とわたし ∞ ∞ ∞ ∞

### ～ムダなことは、ひとつもなかった～

（のぞみ H・K）

私の長男は、この3月で00歳になります。20代後半に引きこもりで、Uクリニック（現在、U診療所）にかかり、うつ病との診断で通院中です。クリニックに行く道すがら、この人と病気に寄り添っていかう、過去は振り返らず今を見て行こうと覚悟を決めました。

治療からデイケア、大樹でのジョブ、就労支援センターから斎場の仕事（清掃）、支援センターの助けをいただきながら、現在の障害者枠での飲食店の就労に到りました。

この間、私が介護ヘルパーの資格取得を薦め本人も頑張りましたが、コミュニケーション下手な性格では合わなく、老人ホームでの仕事は1年位でやめました。しかしこれを失敗とせず経験ととらえることで、前向きにとらえることにしました。

斎場では統合失調症の仲間の中で経済的に自立したい本人には居辛い場所でしたが、次の職場に定着

するまで猶予期間を与えてくれたのは有難いと思いました。

私も、U診療所では家族会がSSTに変わり情報面、心理面で不安になったので家族会のぞみに入会しました。「のぞみ」は大半が統合失調症のご家族で、私たちが居てよい所なのかと、息子が感じたことと同じことを感じます。

しかし、所属したことにより情報が多く、その中から個人的にピックアップしては講演に出かけています。

長男もパニック障害もありと、大変な時期もありましたが、今は「居場所がない」と嘆いた頃より、顔つき、話し方が落ち着いているのが分かり、居場所が見つかったかな、という状況です。朝のラッシュがいやで、6時すぎに出かける息子に早起きして手伝っています。ここまで何度も挫折しながらの日々でしたが、ムダなことは、ひとつもなかったと思うことにしています。

2月19日～20日の浜家連1泊研修会は、その前の金曜日に大雪に見舞われ、日曜日までは再び雪の予報が出ていたため中止としました。雪かきで筋肉痛になりましたと多くの人に聞きました。その時の用意していた研修会資料の中で、例会等で話題にしてもいいような資料を掲載しますので、ご参考にお読みください。他にも資料がありますので、理事さんにお問い合わせください。

※ ◎ ◇ ○ “ 素敵な年寄りになりましょう ” ※ ◎ ◇ ○

● つもり違いが人を複雑にします。

・高いつもりで低いのが	教 養
・低いつもりで高いのが	プ ラ イ ド
・深いつもりで浅いのが	知 識
・浅いつもりで深いのが	欲 望
・厚いつもりで薄いのが	人 情
・薄いつもりで厚いのが	面 の 皮
・強いつもりで弱いのが	根 性
・弱いつもりで強いのが	わ が ま ま
・多いつもりで少いのが	分 別
・少いつもりで多いのが	無 駄
・心遣いのように気遣い	人 間 関 係



## イベントのお知らせ

### § 1 みんな一緒に家族の当事者研究

日 時 平成26年4月20日(日) 13:30～16:30  
 会 場 横浜市市民活動支援センター 4階 セミナールーム 2  
 みなとみらい21クリーンセンタービル (桜木町紅葉坂側)  
 講 師 向谷地 生良 氏 (北海道医療大学教授)  
 対 象 障害を持つ人の家族・当事者・支援者  
 参加費 一般 2000円 当事者 500円  
 定 員 30名 先着順  
 問い合わせ アリシアの会 TEL&FAX 045-402-0835 宝田  
 ” ” 045-951-1129 木村

### § 2 浜家連通常総会について

日 時 平成26年5月30日(金) 13:00～15:00(終了予定)  
 会 場 横浜市ラポール 2階 大会議室  
 議 題 ① 平成25年度事業報告及び決算報告  
 ② 平成26年度事業計画と予算について  
 ③ 役員改選について(今年は2年毎の役員改選時期です)  
 ④ その他

## 編集後記

3年目の3・11が巡ってきました。被災された方、避難されている方にお見舞い申し上げます。直接被災地には行けない方も多いと思いますが、デパート等で物産販売をする時があります。買い物をして被災地の人たちのためになるのもよいことと思います。

3月に入って、数十年ぶりという寒波が来ました。皆さま体調管理はいかがでしたでしょうか？ 浜家連近くを流れる鳥山川の堤防の桜も、一部の早咲きの桜のピンクの花が見えますし、他の木のつぼみも大きくなって、開花とともに満開を迎えそうです。

4月1日からは消費税が8%になります。交通費その他も、すべて税率改正に伴い値段が変わります。直接生活に影響してきます。うまく節約して上手に家計をやり繰りしたいと思っています。

